



## TAKEFU WEEKLY



創立/1954年(昭和29年)6月30日  
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内  
TEL. 0778-23-5210・FAX. 0778-22-2333 E-mail:takefur@es.ttn.ne.jp

例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館  
会長/河嶋 一 幹事/柿谷 好彦  
会報委員長/上野 巖

## 第3229回 例会記録 令和4年10月18日(火)

本日出席会員 36名

メイクアップ(前々回) 2名

出席率(前々回補正) 79.17%

ロータリーソング「我らの生業」

 会員総数  
48名

会長挨拶 第69代会長 河嶋 一



河合敏一会員が市政功労者、産業功労として越前市から表彰されました。おめでとうございます。多額のニコニコ期待しております。本日は職業奉仕につ

いての発表です。

私の個人的な意見ですが、ロータリーは職業奉仕が一番だと思っています。ロータリーの4つのテストはロータリーの職業奉仕の理念ではないでしょうか？

ロータリーは「入りにて学び、出でて奉仕せよ」

ロータリーは「I SERVE」

奉仕する人の集まりです。正しい倫理観を持った人が奉仕活動する団体だと思っています。この後、社会奉仕の勉強会もあります。

過去に行った当クラブの社会奉仕事業を知り、これから地域にどのような社会奉仕事業をしていくべきか皆様の意見をお聞きし、理事会で地域に望まれる社会奉仕事業、ロータリーとして活動していきたいと思えます。発表者の方々よろしくお祈いします。

## プログラム

## 炉辺会合発表

## 「職業奉仕とは？炉辺会合勉強会」

【1班】日時：9月27日 18：00～場所：萬谷

責任者：田中 茂 発表者：梅田雅彰

参加者：河合敏一、奥村 忠、田中大成、

柿谷好彦、前田武彦

各会員が職業奉仕について、忌憚ない意見や思いを



出し合い、ロータリークラブの職業奉仕について考えを深めました。ある会員は、社内の従業員への奉仕、またある会員は、商売を通じた取引先や社会への奉仕についてお話いただきました。大切なことは、目先の利益を求めず、清く正しく嘘偽りのない商売をすることであり、結果として、自らの職業が地域から愛されるような行動をしていくことが必要であると感じました。

【2班】日時：10月3日 18：00～場所：うおとめ

責任者：辻岡俊三 発表者：渡辺岳史

参加者：宇野晃成、橋本勝利、上野 巖



職業奉仕はロータリー活動の一番大きな柱。そもそも成り立ちを考えると、私たち日本人が考えていることと、ポールハリスが提唱したことにギャップがあるのではないかと。

五大湖の沿岸の商業都市で、世界有数の穀倉地帯。畜産業、鉄鋼業などの重工業も盛ん。1900年には既に170万人の人口を有す。急激な経済発展を遂げ、富裕層の増加、貧富の差の拡大、スラム化が進行。多くの社会問題が生じた。黒人がアメリカ南部から次々に移住。

当時の移民も含めて、労働者は過酷な環境で働く。政治も腐敗し、街は無法地帯になる。当地の経営者もビジネスの目的はお金であると考えていた。

この状況の中で、弁護士のポールハリスが友人とロータリーを立ち上げたアメリカなどの海外での、職業奉仕について職業倫理の専門家の招聘によるセミナー、メンバーによる5分間スピーチ、ワークショップ、年に一度高度な倫理基準を持った地域の経営者をノミネートし表彰。日本、また武生ロータリーでは何をすべきか。職業倫理の自己診断も必要ではないかと。

先進7か国の中で最低と言われる生産性。長い労働時間。今では英語になっている過労死の問題、パワハラの問題がある。同族会社において、一族の繁栄のために頑張ってくれている従業員がいるということも鑑み、職業奉仕の活動の再構築も必要ではないかと。カナ

ダのオンタリオ、ニューメキシコ、シドニーロータリークラブを立ち上げた、全く同じ活動を行っている。

【3班】日時：10月7日 18:00～場所：うおとめ

責任者：藤谷家也 発表者：鷺田文枝

参加者：玉村一男、野田義弘、宮本 俊、西野昌美

西本久美子、市川隆成、鎌谷孝之、小泉義廣



CS顧客満足度・ES従業員制度・コンプライアンス・地域共存この4項目に向けて儲ける為にやらなければならないと、目的をもつけれど振り返ると、儲かっていたという遠回りの経営の意味でもあるのかもしれないという前提のもとで、仕事を通じてきちんとやっている事が人の為、社会のためになっている。

税金を納めたりして、自分の会社が健全になっている。人の事を考えどんな時代でも一生懸命していく。丁寧に積み重ね、積み重ねて仕事をしていくこと全てにおいて職業奉仕だと強く思いました。

アイサーブ、個人が奉仕をする。私はなんて素敵な言葉、そんなロータリーに深く魅力を感じました。職業奉仕、私は経営者として、なくてはいけないものであり、これから更にいだいていこうと強く思いました。

【5班】日時：9月30日 18:00～場所：うおとめ

責任者：佐々木忠彦 発表者：河合洋典

参加者：河嶋 一、宮前貴司、三田村久光

有定静子、杉本正一、林 豊和、山口和弘



座長の佐々木さんより、過去30年の職業奉仕の事業を確認し、これまでで多い事業は会員卓話、企業訪問、高校への講師派遣、高校の模擬面接でした。過去を振り返ると、これまでの事業は職業奉仕というより青少年奉仕の意味合いが大きいという意見がありました。

では、職業奉仕とは何なのか？その答えはロータリーの起源、オリジンにあるのではないかと。騙し合いが普通だった混沌としている時代のシカゴで、信頼できるメンバーで集まって取引をした。お互いに商売を繁栄させて、余った資金を世間に奉仕する。その財力を出すことが一番の職業奉仕だと思うということでした。

また、職業奉仕をする中で社会奉仕につながる。奉

仕をするゆとりは会社の利益があるからできること。ロータリーは奉仕で何をするか考えること、奉仕をしてくれる人を見つけ出し支援することだと思うということでした。

職業奉仕というのは、誰に、何を奉仕するのか？という質問がありました。ロータリーは社会に奉仕するとなっていて、社会という言葉が抽象的で明確な定義があるわけではないということでした。ロータリーは品格のある事業をやるべきで、職業奉仕は高い倫理観が必要で、そこが重要ということでした。

ここまで、職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕というワードが出てきました。私は全て一緒にたに思っていました。今回の炉辺会で、それぞれが違っていることがわかり大変有意義な時間でした。

ニコニコ箱・・・ 37,000円 累計 453,500円

・河合さんおめでとうございます。発表をお願いします。

【河嶋 一】

・先日思いもしない事がありました。考えてみるとロータリーの精神及びロータリーの皆様のご協力があったからだと思います。ありがとうございます。

【河合敏一】

・葬儀の際にはお世話になりました。

【米岡房直】

・梅田さん、炉辺会発表よろしくお祈いします。

【田中 茂】

・早退させていただきます。

【田中大成】

・4班桶谷さん炉辺会合発表よろしくお祈いします。

【三村昌之】

・河合さん功労賞おめでとうございます。

【井上常宏】【有定静子】

・結婚記念日自祝

【渡辺哲広】

・河合さんおめでとうございます。早退します。

【三田村久光】

・本日の炉辺会合の発表よろしくお祈いいたします。

【柿谷好彦】

・炉辺会合発表です。よろしくお祈いします。

【桶谷三枝子】

・ちょっと

【渡辺岳史】【小泉義廣】

・コロナもゆるみ、久々に出張させていただきました。

【杉本正一】

・10月に娘が結婚いたしました。河合会長さん、功労賞おめでとうございます。

【鷺田文枝】

本日(10月29日)の例会

IM ホスト：若狭 RC

11月1日

休 会

11月8日

第一例会行事  
ロータリー財団  
渡辺哲広委員長

11月15日

夜間例会 18:00～  
場所：料亭うおとめ